

甲陵タイムズ

2012/3/2
甲陵高校
生徒会発行

36年間で創りあげた伝統
卒業生11,039名の志
進んでことに当たる日々
そのすべての原点が ここにある



生徒会長あいさつ

横村 圭亮

私たち普通科三十四期生、人文科二十三期生は、甲陵高校が閉校すると知ったうえで入学してきた学年です。入学当初から閉校の日が来ることは分かっていたましたが、三月二日を迎えた今、卒業の喜びと同時に、例えようのない寂しさを感じています。

学校としての「甲陵」の名前はなくなりませんが、この校舎で学んだ同窓生との絆は今後ますます強く確かなものになっていくと信じています。これからも甲陵の卒業生であることを誇りに、それぞれの道を歩み続けていきましょう。

放課後の生徒会室

2学期は行事の準備でとても忙しい日々を過ごした。それだけであれば他の高校と同じような状況であろうが、何しろこれで甲陵は最後の年度。最後を託してもらった責任をどうにかして果たそうと、放課後の生徒会室で悩む日々が続いた。

生徒総会で実施を決めた「甲陵坂清掃ボランティア」。ペットボトルキャップで助けられる命があると知って始めた「エコキャップ運動」。県民交流センター展示のための資料作り。いつの間にか3年生全員の活動になって、放課後の生徒会室に生徒が集う時間は、常に笑いが絶えなかった。

母校「甲陵高校」が廃校となり、今後どんなに時が過ぎようとも、この部屋で、そしてこの校舎で綴ったかけがえない日々の記憶を、私達は決して忘れないだろう。

生徒会執行部

